

第5学年 国語科学習指導案

2020年11月18日(水) 第5校時

5年1組 児童数27名

指導者 和田 萌花

- 1 単元名 「心が動いた場面に気持ちを乗せて、お世話になった人が感動する朗読発表をしよう。」
教材名 「大造じいさんとがん」

2 単元について

○児童観

本学級の児童は、「だいじょうぶ、だいじょうぶ」や、「世界でいちばんやかましい音」などの教材の学習を通して、人物の行動や会話をてがかりに人物の気持ちを考えたり、場面の展開とともに変化する人物の気持ちを読み取ったりすることを学習している。

昨年度実施した標準学力調査の結果から、「叙述を基にして、登場人物の気持ちを捉える」「場面の移り変わり結びつけて登場人物の気持ちを具体的に想像する」内容において、弱さが見られた。叙述を根拠にした、登場人物の気持ちの読み取りや、気持ちの変化、場面の細かい描写を読み取ることに課題があると考えられる。

○単元観

本単元における重点指導事項は、学習指導要領における「思考力、判断力、表現力等」の「C読むこと」(1)エ「人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」である。

本単元では、自分の思いを表現することを目的とした「朗読」に取り組む。物語を読んで何に関心を持ちどのような思いを抱くかは人それぞれだが、児童にとってはやはり中心人物の言動や心情に対する思いが中心となると考えられる。人物像について具体的に想像する力を働かせることで、自分の思いや考えを引き出せるようにし、その思いを朗読で表現する力へとつなげたい。

本教材は、猟師である大造じいさんとがんの群れを率いる一羽のがん、「残雪」との戦いの様子が、美しい情景描写とともに描かれている作品である。計略失敗に悔しい思いをしながらも、残雪の賢さに感心し、さらには仲間を守ろうとする姿や頭領らしい姿を見て、大造じいさんの心情は変化していく。それぞれの場面の心情を、行動や会話、情景描写などから想像しながら読み取ることができ、中心人物の人物像を考えさせることのできる教材である。

○指導観

第一次では、単元のゴールイメージや学習の見通しを持たせる。声の大きさに工夫している朗読と、抑揚や間の取り方など表現性の高い朗読の2つの朗読の例を示す。違いを比べることで、自分の思いを表現することを目的にした「朗読」についておさえさせたい。

第二次では、気持ちが伝わる朗読をするために、まずは、場面の構成や大造じいさんの人物像、残雪に対する思いの変化を情景描写にも着目しながら複数の叙述をもとに、総合して考えていく。作品の全体像を捉えて読めるようにするために、全文掲示や全文シートを活用する。読み取らる中で、自分が朗読として表現したい場面を選ぶ。選んだ理由や朗読で何を表現し、聞き手に伝えたいのかを考えることで、読みの工夫へとつなげたい。また、並行読書として、椋さんの他の作品を扱い、優れた表現や椋さんの動物への愛情などの作品の魅力についても考えさせたい。

第三次では、朗読発表の練習を行う。朗読のよしあしを評価するのではなく、友達と互いにそれぞれの感じ方や、考え方の違いに気付かせたい。そして、感謝祭で、お世話になった地域の方や保護者の方の前で発表をすることを学習のまとめとしたい。

3 単元の目標

- ・児童一人一人が思ったり考えたりしたことを表現の工夫をして朗読することができる。
〔知識及び技能〕 (1)ケ
- ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)イ
- ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりできる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)エ
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
〔学びに向かう力、人間性等〕

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学びに取り組む態度
①児童一人一人が思ったり考えたりしたことを表現の工夫をして朗読している。 (1)ケ	①「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。 【C(1)イ】 ②「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 【C(1)エ】	①これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし、学習の見通しを持って、積極的に人物像を想像し、表現しようとしている。

5 単元の系統性 【C 読むこと エ 精査・解釈（文学的な文章）】

学年	1	2	3	4	5	6	中1
教材名	スイミー	お手紙	モチモチの木	ごんぎつね	大造じいさんとがん	海のいのち	ウ（前半省略） 場面と描写など
めあて	おはなしのすきなところを見つける	自分とくらすべ て読む	人物のせいかくを想像する	人物どうしの関わりを考える。	人物像を想像する。	物語が自分に最も強く語りかけてきたことを考える。	を結び付けたりして、内容を解釈すること エ 文章の構成
指導事項	エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。		エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。		エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。		や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

6 効果的な学校図書館の活用

- ・ 椋鳩十作の本を並行読書として扱う。
- ・ 国語辞典を常備し、日常から使う習慣をつける。

本単元で扱う図書館資料

- 「マヤの一生」「椋鳩十のクマ物語」「片耳の大シカ」など

7 指導と評価の計画（全9時間 本時 / 9）

次	時		○学習活動	見方・考え方の成長	学習活動における 評価規準と評価方法
一	1		○単元の学習の見通しを立てる。 ・朗読（グッドモデルとバッドモデル）を聞く。 ・初発の感想を書く。	・ぼくたちがしている読み方とちがうね。思いが伝わってくるね。 ・ぼくたちも心に残る朗読を地域の人に聞かせたいな。そのためには、どうしたらよいか。	
読書 タイム		椋鳩十の作品を読み、椋鳩十ワールドのみりよくを考える	○教師の読み聞かせ「片耳の大シカ」を聞く。	・椋さんの作品の動物はカッコいいな。人間の心が動かされるのは同じだね。	
二	2		○物語の設定を確かめる。 ・物語の始まりと終わりを比較して、大造じいさんの心情の変化を考える。	・中心人物は大造じいさんかなあ。 ・大造じいさんの、残雪に対する心情の変化が大きいなあ。（どうしてそんなに心情が変化したのかな。）	〔思考・判断・表現②〕 大造じいさんの人物像や3年にわたる物語の全体像を捉えたり、表現の効果を考えたりしている。 【発言・ノート】 〔思考・判断・表現①〕 大造じいさんの心情の変化や残雪との関係について、描写を基に捉えている。 【発言・ノート】
	3		○計略①（うなぎばり）と計略②（たにし）の場面から、大造じいさんの心情、人物像を捉える。	・「ううむ。」と「ううん。」は読み方は同じかな。「ううん。」は今までの作戦より自信があった分、獲物がとられずに悔しさも大きかったと思う。（中心人物の心情の変化、場面の移り変わり、中心人物の対人物への見方の変化等）	
	4		○大造じいさんの残雪に対する思いの変化について考える。 ・残雪に対する思いがど	・大造じいさんは残雪の仲間を思う姿をみて仕留めるのをやめたんだろうな。	

三	5	椋鳩十の作品を読み、 椋鳩十ワールドのみりよくを考える	うして変化したのか考 える。	<ul style="list-style-type: none"> ・ただの鳥ではなく、○○ な鳥に思えたんだと思う よ。 (勇気ある, 勇敢, 仲間思い) 		
			○効果的な、情景描写に ついてとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの場面に情景描 写が描かれているなあ。 ・情景描写があることで、 より、大造じいさんの心 情が伝わってくるなあ。 		
			○心の動いた場面を伝え 合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは三場面で残雪の仲 間を思う姿に心が動いた よ。だから、この場面を 情景が伝わるように読み たいな。 		
			○椋鳩十の他の作品を読 んで、椋さんの世界観 をとらえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・どの作品にも、動物が出 てくるなあ。なんでだろ う。 ・情景描写も描かれている な。 		[主体的に取り組む態度] 学習の見通しを持って、 積極的に自分が読んだ本 から椋さんの世界観を見 つけている。 【ノート】
			8	○前書きを書き、練習を する。		<ul style="list-style-type: none"> ・この場面の残雪の勇まし さに心を動かされたよ。 それが伝わるように、こ ことこの間は間をおい てゆっくりと読み、大切 に伝えよう。
9	○朗読発表に向けて友達 と聞き合う。 ○単元のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分とは違う朗読だけ ど、気持ちが伝わる読み 方だったなあ。 ・次は、読み方を変えてみ よう。 				

単元末の子どもの姿

- ・朗読は、読み方を工夫することで、自分の感動を伝えることができるのだな。
- ・朗読は楽しいな。
- ・情景描写で、人物の心情を読み取ることもできるんだなあ。
- ・椋さんの他の作品も読んでみたいなあ。